

狛江市平和都市宣言

われわれ狛江市民は、「日本国憲法」の前文と世界の恒久平和を達成するという精神および第9条に記された「戦争の放棄、交戦権の否認」を、狛江市および狛江市民の行動原理として高く掲げたいと思う。

われわれはこの行動原理は、ヒロシマ、ナガサキ、第五福竜丸と三度にわたる原爆被爆の痛切なる体験にもとづき、かかる悲劇が二度とふたたび人類社会においてくりかえされてはならないとの確信にもとづくものである。

われわれは、今日の国際社会がわれわれの念願にもかかわらず、絶えざる核軍拡競争と、軍事的緊張の連続であるという事実を深く憂慮し、核軍縮こそ、人類の生存にとって最も優先させるべき課題であるとの認識のうえにたって、全ての核保有国にたいし、核兵器の研究、実験、開発、配備を停止すること、および、率先して核兵器の削減をおこなうこと、および、非核保有国をも含めた核軍縮交渉を開始することを希望する。

われわれの海や大地は、戦争のために汚されることがあってはならず、人類の生存のために利用されるべきものである、と確信するがゆえに、非核三原則を守り、狛江市および狛江市民は、各平和宣言都市と手を結び、核兵器完全禁止・軍縮、全世界の非核武装化にむけて努力することを宣言する。

(昭和 57 年6月 21 日 東京都狛江市議会)

パネルディスカッション

「平和ってなあに? ~コスタリカから学べることは~」

パネリストの皆さん

伊藤千尋さん

岡野奏子さん

二階堂まり
実行委員長

元朝日新聞記者、編集委員。中南米をはじめ欧州、米州の特派員を歴任。「コスタリカ平和の会」共同代表。音楽・映画に造詣が深い。2016年こまえ平和フェスタ出演。狛江市在住。

コスタリカの自然に魅了され留学。上智大総合グローバル学部1年。ラテンアメリカの貧困問題に関心。趣味はピアノ。

英語/日本語教師・俳優。2008年コスタリカ訪問、モンヘ元大統領に取材し、朗読劇を制作・演出。狛江市在住。

戦争体験のお話

「18歳、最後の二等兵」

寺尾浩次さん

西和泉在住。元高校教師。91歳。中国天津租界生まれ。1944年北京工専機械科に入学したが、学期の半分以上は学徒動員で軍需工場へ。翌1945年、現地司令官の命令で招集された。その任務は…。1945年8月28日、自分は現地除隊して生き残ったが…。またとないお話を聴く機会をお見逃しなく!

郷土芸能

きんたの会さん

太鼓を中心に日本の郷土芸能を練習している。24年前に始まり、会員は狛江を中心に小・中・高・大学生、青年、大人と世代は広い。昨年は4回目のエコルマ公演を開催。市民まつりやいべんと西河原、地域イベント、老人ホームなどで演奏。東日本大震災後は毎年陸前高田に支援交流ツアーを行なっている。

自然と平和の国 コスタリカ

ニカラグワとパナマに挟まれ、太平洋とカリブ海に面した中米の国。九州と四国を合わせた面積を持つ火山国。国土の1/4が国立公園と自然保護区。軍隊を持たない国として世界の平和運動をけん引。人口500万人。



ツンさんの福島支援展示

サムライの姿でサッカー日本代表を応援する名物サポーター。通称・ちょんまげ隊長ツンさん。本名・角田寛和さん。東日本大震災を機に東北支援を開始、その後も熊本やネパールなど被災地、貧困地域への支援も行い、活動の場は世界へと広がる。



平和フェスタ合唱 団員募集中!

毎年、公募による合唱団を結成。子どもから年配者まで。参加費無料。練習日は次の通り。時間はいずれも10~12時。中央公民館。6/9、6/24、7/15、7/22、8/5。本番と前日リハーサル。指揮:大熊啓 ピアノ:菊池リカ



司会者紹介

中野さやかさん

上智大学非常勤講師。中東地域の歴史研究が専門の研究者で、現在2歳と5歳の育児中。2016年から「こまぴーす」の一員として憲法カフェを開催、安保法制を勉強中。



展示会場 エコルマホワイエ 8月12日(日) 12-16時

中央公民館 2F ショーケース 7月16日~31日(世界の非核兵器地帯)

西河原公民館ギャラリー 8月20日~27日(上記以外の展示作品)